

整理番号	15-18	事務事業名	衛生団体連合会補助事業		作成部署	市民環境部市民生活課	電話	内線825
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S35	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内の地区組織(自治会・町内会)の代表者で構成する衛生団体連合会を充実、活性化することにより、市民の健康を推進し、清潔で良好な環境を確保する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第2章)
	節	環境保全	(第3節)
	施策	パートナーシップと人づくり	(第5施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	北広島市衛生団体連合会の活動	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	衛生団体連合会を充実・活性化することによつて、市民と一体となつた環境浄化を行い、清潔で明るい住みやすい街づくりの推進を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	15年度まで	北広島市衛生団体連合会に補助金を交付する。 【団体の活動内容】ごみネット購入助成・環境美化啓発看板の配布・環境美化啓発(チラシ・衛団連通信発行) 一斉清掃のゴミ袋配布・市民の衛生活動に対する表彰・役員の研修参加
		16年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	会費・負担金				
	その他				
	一般財源	230	230	230	230
	合計	230	230	230	230
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		1,130	1,130	1,130	1,130

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	ごみネット購入助成	17町内会	15町内会	20町内会	20町内会
	環境美化啓発(犬フン)看板の配布	51枚	50枚	50枚	50枚
	環境美化啓発(チラシ・衛団連通信発行)	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	春・秋の一斉清掃(ごみ袋配布)	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	ごみネット購入助成	17町内会	15町内会	20町内会	20町内会
	環境美化啓発(犬フン)看板の配布	51枚	51枚	50枚	50枚
	環境美化啓発(チラシ・衛団連通信発行)	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	春・秋の一斉清掃(ごみ袋配布)	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等
 地域生活密着型環境問題をはじめ、温暖化などによる地球環境問題や大量消費によるごみの増加問題など、今後、環境衛生問題は益々複雑化し進むものと思われるため、環境衛生事業は一層重要になると予測される。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	衛生団体連合会の活動に対し、補助金を交付するものであり適切であるが、自主的活動の促進が必要である。	現在、事務局として市が関与しているが、自主的活動のため、事務局の連合会への移管を検討する。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)		
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	補助金の交付という形で衛生団体連合会の活動を側面から支援しており、適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	各町内会から1世帯当たり50円を会費として徴収。快適な住みやすい街づくりに参加するということである。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	各地域の環境美化等に成果を上げている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	直接衛生団体連合会に交付しているので効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	設立当初の衛生的問題に対する目的は達成していると考えますが、現在の当団体は環境美化に対する全市的な組織であり、現状の補助事業中心の活動でなく、身近な環境問題に対する自主的な活動を行なう組織への移行の検討を行なう。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	運営費補助から事業費補助への切り替えや補助団体への事務局移管を進める。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	15-18
------	-------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	衛生団体連合会補助事業		
交付先の名称及び代表者名	北広島市衛生団体連合会 会長 小泉 学	設立年	S35
構成員(団体)数	24,028世帯 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	住民の健康を増進し、清潔で良好な環境を確保するため、必要な事業及び啓発指導を行なう		
交付先団体等の活動内容	披見衛生思想の普及向上、保健衛生に係る調査・研究、環境衛生(清掃美化・病虫害防除)の実践・活動、住民の健康の維持増進、優良衛生組織及び衛生功労者の表彰		
事務局の状況(15年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(15年)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	230	230	230	
	県協会交付金				
	会費	898	918	919	
	諸収入(研修負担金)	32			
	その他	1,339	1,143	1,100	
	繰越金	5	37	69	
	収入合計(B)	2,504	2,328	2,318	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	113	41	150	
	事務費	33	30	30	
	旅費	89	50	55	
	負担金	65	65	65	
	会議費	52	67	70	
	役務費	39	59	70	
	表彰費	75	14	20	
	事業費	2,000	1,934	1,858	
	支出合計(C)	2,466	2,260	2,318	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	38	68		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		9 %	10 %	10 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	すべての経費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		2,466	2,260	2,318	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		9 %	10 %	10 %	
補助・交付金の算出根拠					